

俳人協会岐阜県支部 第二十三回芭蕉の道俳句大会

日時 令和六年五月十八日(土)

会場 じゅうろくプラザ・ホール

事前募集句成績

俳人協会賞

しろがねの連山はるか土筆摘む

渡会さち子

岐阜県支部賞

闇汁の最初の箸をゆづりあひ

竹内すま子

岐阜県知事賞

夜の早起柳ヶ瀬通りうかれ猫

後藤 和朗

岐阜県議会議長賞

瓦礫とは悲しき言葉能登の春

村瀬いく子

岐阜県教育委員会賞

寒紅をつけて米寿の祝ひ膳

伊藤 しき

岐阜市長賞

始発バス待つ元旦の夜勤明け

廣瀬あや子

岐阜市議会議長賞

三月やパンの値も記す闘病記

林 富士子

岐阜市教育委員会賞

競争馬曳かれてゆきぬ花菜風

岩田 恵子

岐阜観光コンベンション協会賞

空き箱の山へ空き箱年の市

飯田 正幸

秀逸賞

菜飯炊く能登の本塩一つまみ

竹中 孝子

春風や乗り放題の乗車券

鷹見美佐江

春一番聞こえぬ耳を叩きゆく

長 昌子

風邪の子にまたはじめから読む絵本

梅枝あゆみ

招かれし思ひに進む恵方道

三本松隆男

紙漉いて紙と眠りに入る暮し

関谷ほづみ

麗らかや新任教師良く笑ふ

丸山 洋子

切干の日矢より風に乾きけり

原 百合子

白梅や旧街道の分岐点

谷口 浩治

日本橋バス停で待つ乗始

近藤 浩史

冬北斗紙一枚の別離かな

森 佳子

菜の花や赤い電車に海の青

島田 和典

春の天一村かかへ鳶舞へり

栗野みねお

座布団をすゝめ無言の日向ぼこ

増澤 明

名刹の廊下の軋み余寒なほ

新町 恵子

太鼓打つ背の躍動土匂ふ

松井 吉子

過疎の村草駒返る母屋跡

松嶋 粹白

ウクライナ核に脅える冬の朝

奥田 和子

母馬の眼のみ映りて子馬の眼

白井美恵子

權 未知子特選

一穢なき伊吹嶺のいろ犬ふぐり

竹中 孝子

しろがねの連山はるか土筆摘む

渡会さち子

足立 賢治特選

招かれし思ひに進む恵方道

三本松隆男

闇汁の最初の箸をゆづりあひ

竹内すま子

日本橋バス停で待つ乗始

近藤 浩史

荻原 正三特選

帰宅かなはぬ病棟へ初日影

竹内すまこ

名刹の廊下の軋み余寒なほ

新町 恵子

小野木 武守特選

夜の早き柳ヶ瀬通りうかれ猫

後藤 和朗

菜の花や赤い電車に海の青

島田 和典

過疎の村草駒返る母屋跡

松嶋 粹白

小瀬 千恵子特選

座布団をすゝめ無言の日向ぼこ

ウクライナ核に脅える冬の朝

しろがねの連山はるか土筆摘む

瀬尾 千草特選

競争馬曳かれてゆきぬ花菜風

寺田 好子特選

紙漉いて紙と眠りに入る暮し

始発バス待つ元旦の夜勤明け

切干の日矢より風に乾きけり

富田 澄江特選

三月やパンの値も記す闘病記

空き箱の山へ空き箱年の市

菜飯炊く能登の本塩一つまみ

保浦 小枝子特選

冬北斗紙一枚の別離かな

太鼓打つ背の躍動土匂ふ

母馬の眼のみ映りて子馬の眼

森崎 義道特選

寒紅をつけて米寿の祝ひ膳

麗らかや新任教師良く笑ふ

春の天一村かかへ鳶舞へり

矢田 邦子特選

春一番聞こえぬ耳を叩きゆく

横田 義男特選

白梅や旧街道の分岐点

春風や乗り放題の乗車券

瓦礫とは悲しき言葉能登の春

増澤 明

奥田 和子

渡会さち子

岩田 恵子

関谷ほづみ

廣瀬あや子

原 百合子

林 富士子

飯田 正幸

竹中 孝子

森 佳子

松井 吉子

白井美恵子

伊藤 しき

丸山 洋子

栗野みねお

長 昌子

谷口 浩治

鷹見美佐江

村瀬いく子

当日句の部

兼題「泳ぎ」又は「光」

俳人協会賞

祭笛ピアスの光る男振り

服部 智恵（垂井町）

岐阜県支部賞

滝水の須臾も古びぬ光かな

岩田 恵子（各務原市）

岐阜県知事賞

夏来る光の帯の長良川

三本松隆男（岐阜市）

岐阜県議会議長賞

レース編む母のかぎ針光りづめ

田畑 清美（岐阜市）

岐阜県教育委員会賞

背泳ぎの空にゆるりと鳶一羽

井藤 正一（山県市）

岐阜市長賞

太き梁光りて鄙の夏座敷

武藤 真弦（岐阜市）

岐阜市議会議長賞

泳ぎ出す横一列の水しぶき

永田 良子（各務原市）

岐阜市教育委員会賞

戦ぎ出す前頭葉や新樹光

片桐 栄子（岐阜市）

岐阜観光コンベンション協会賞

笹の葉を転がる光夏料理

近藤 磯子（岐阜市）